

# 会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成25年度第3回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成26年1月17日（金）午後4時～6時00分
開催場所	水谷公民館・会議室
出席者	萩元不二夫委員 佐藤 和秀委員 是永 国彦委員 山本百合子委員 坂間 道夫館長 大日方清美主査 加治あゆみ主任
会議次第	あいさつ 水谷公民館館長 地区公運審代表萩元委員 議事＝協議事項 別紙のとおり
会議資料	別添のとおり。
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p>1. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 平成25年度水谷公民館事務事業報告について</li><li>○ 第28回入間地区公民館研究集会（2月4日 コピス三芳）について</li><li>○ 第19回入間地区生涯学習フォーラム（2月20日 所沢中央公民館）について</li><li>○ 1階系統空調設備改修工事について →公民館長より報告</li></ul> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 水谷公民館井戸端会議について</p> <p>職員：現在26年度の教育行政方針の案を策定中。25年度の教育行政方針でも地域の特色を生かしたまちづくりの地域支援型公民館を目指すということが明記されていた。しかし、水谷公民館区は非常に穏やかな地域がらということもあり、特</p>	

にそこまで大きな問題というのが、起こらないことから、今に至っているということがある。まちづくり協議会とのすみ分けも難しいところがあるが、少し意見を伺いたい。

委員：前回答申を出した時のメンバーが、2名しかいない現状。「まちづくり」というと、意味として非常にとらえ難い。例えば、陸橋をひとつかける時、それを良しとする人と、そうでない人がいて、両方の立場に立った状態でないと話ができない（公民館だよりの特集として組んだとき、非常に記述が難しかった）。また、今水谷の地域は家がたくさん建ってきているが、田んぼを宅地にすることの是非について、講座をひらいてほしいという意見を聞いた。しかし、地権者にとってはいろんな事情の中で宅地にしている人もあることから、公民館でそのような意図を汲んで事業を行うことは無理。「まちづくり」というと、二項対立になる側面があることため、公民館ではなくまちづくり協議会が行うことではないか。あくまで、公民館が行うことは、ソフトの面での支援。例えば、以前の例でいうと「痴漢が多いので、パトロールをしよう」ということを呼び掛けて行った経緯がある。このような内容だと、問題意識としてとらえやすいし、市民にも伝わりやすい。

職員：また、館区が広いという問題もある。

委員：前回の井戸端会議では、水谷・みずほ台・針ヶ谷を一緒にするのは無理があったことから、やはり分ける方が好ましい。どこかの地域に的をしぼって、ひとつの地域で今年度行ってもよいのではないか。あるいは、防災・防犯や、安心・安全など共通のテーマに的を絞っていく方法もあるのではないか。

委員：ただ、市長部局が進めている「まちづくり協議会」の動向も、どのようになるか気になるところではある。